

## 第33回 通常全体協議会 報告書

日 時	平成28年 5月26日 (木) 14:30～16:30
場 所	大阪市淀川区宮原4丁目2番1号 メルパルク大阪 3階 フォンテーヌ
出席会員数	出席会員 17社・21名 (会員、役員のみ) 委任状提出会員 4社 計 21社 (出席率80.8%) 支部会員数 26社

### 1. 司会挨拶

杉浦司会者から全体協議会の司会進行を務める挨拶が行われた。

### 2. 表彰式

開会に先立ち、幹事・下水道部会長として関西支部の活動に貢献のあった石川氏に、関西支部表彰に関する内規に基づき、北支部長から感謝状の贈呈を行った。



#### 感謝状贈呈

石川高輝

(日本水工設計株式会社

東京本社 常務取締役支社長)

柏幹事が代理で感謝状を受け、石川氏の謝辞を代読した。

### 3. 全体協議会成立報告

全体協議会の成立について、出席会員数は委任状を含み21社であり、支部会員数26社の2分の1以上の出席を得ており、支部運営規則25条により全体協議会は成立しているとの報告が杉浦司会者からあった。

#### 4. 支部長挨拶

全体協議会の開会にあたって、北支部長が挨拶を行った。

多用中にもかかわらず第33回通常全体協議会に多数の皆さんに出席していただいたことと、協会活動にご支援ご理解いただいたことへのお礼の挨拶のあと、上下水道界を俯瞰して、高普及率下でのアセットマネジメント時代において、既存機能を保全しながらの改築、長寿命化計画と連携した耐震化、ストックマネジメント手法を用いた新たな事業計画などの進展、さらには昨年の水防法、下水道法の改正の意図を汲んだダイナミックな施策展開されているとの現状把握があり、加えて今般発生した熊本地方の地震災害について九州支部を中心として会員各社が復旧支援に取り組んでいることなどから、我々コンサルタントとしての役割が益々大きくなっているとの認識を示し、水コン協もこれらに的確に主導的に対応していかなければならないとの決意を新たに示した。



一方、全国的な上下水道事業を含めた社会インフラ投資を俯瞰すると、平成27年度において、水道事業では耐震化等を推進するための新たな交付金が創設され、下水道事業では総額として不足感があるものの事業体が計画的に施設の改築、更新や耐震対策を実施する環境が整ってきたという背景があり、本部集計による会員企業の受注総額は上・下水道とも前年度を上回って（合計6.3%増）おり、平成23年度以来の増加傾向であるが、平成17年度と同程度の水準であることから、依然として厳しい受注環境であるとの認識を示した。

これらを認識しながら、支部活動を継続的に進める所存であり会員各社の理解と協力をお願いしたい旨が述べられ、本日の提案議案について、「平成27年度事業・決算報告」、「平成28年度事業計画及び予算」を中心にしたものであることが紹介された。

#### 5. 議長選出

杉浦司会者より、支部運営規則第15条において、支部長は全体協議会の議長になると定められているとの報告があり、北支部長が議長席に着き、議事に入った。

## 6. 議事録署名人選出

北支部長が議長となり、支部運営規則第27条に基づく本全体協議会の議事録署名人に議長並びに出席幹事の内、次の2名の幹事を指名した。

幹事 滝澤 茂 (株式会社 日水コン 大阪支所 支社長)

幹事 依藤弘志 (株式会社 ニュージェック 特任技師)

## 7. 議 事

### (1) 第1号議案 平成27年度事業報告

議案に基づき、北支部長が「平成27年度事業報告」を行い、依藤副支部長が「平成27年度一般会務報告」として、①会員の動き、②会議、③事業、④PR活動、⑤発注者との意見交換活動結果、⑥関西支部及び本部活動結果一覧について報告を行った。

続いて、「部会・委員会報告」として各部会・委員会の活動について、議案に沿って、①依藤部会長が総務部会・委員会の報告、②瀧瀬部会長が広報部会・(本部)水坤編集部会の報告、③杉浦部会長が倫理部会・委員会の報告、④尾藤部会長が上水道部会・委員会の報告、⑤柏部会長が下水道部会・委員会の報告、⑥野崎部会長が技術部会・技術・研修委員会の報告、⑦滝澤部会長が公益事業推進部会・対外活動委員会の報告、⑧田中部会長がJS協議特別部会の報告、⑨小畑委員長が受託調査研究委員会の報告、⑩杉浦委員が災害時支援委員会の報告を行った。



### (2) 第2号議案 平成27年度決算報告

議案に沿って、国宗事務長が「平成27年度決算報告」として平成27年度の決算について、「決算概要」、「決算総括」及び「財産目録」の報告を行った。報告の要旨は次のとおり。

#### ① 収入

- ・会費収入は下期より1社退会となり決算額は予算より約8万円減の479万円で前年度実績より約19万円の減となった。
- ・本部交付金は本来の交付金約57万円との本部主催講習会立替金、社会貢

献事業支援金等の約7万円が助成され約64万円であった。

- ・その他収入の雑収入に旧事務所の保証金返還金約81万円が含まれ、実質収入合計は予算に対して約62万円減の約652万円となった。

## ② 支出

- ・育成事業への支出は資料印刷のPDF配信への変更による節減を含み約48万円となり約3万円の予算余りとなった。
- ・普及啓発ではファイル共有システム構築等を含む約67万円となり、約5万円の予算超過となった。
- ・資質向上、要望活動、厚生活動の共益事業への支出は約63万円となり、約16万円の予算余りとなった。
- ・法人会計全体は約12万円の予算余りの542万円となった。
- ・以上より、平成27年度実質支出合計は予算に対して約27万円予算余りの約720万円となった。

## ③ 決算のまとめ

- ・収入約652万円に対して支出は約720万円となり、約68万円の赤字となったが、旧事務所の保証金81万円が含まれるため、実質は約149万円の赤字であった。

議長が第1号議案と第2号議案を合わせて採決し、異議なく承認された。

### (3) 第3号議案 第17期役員選挙結果報告及び役員互選報告

梅垣亨（関西技術コンサルタント株式会社 代表取締役社長）選挙管理委員長より3月4日、関水コン事務局での役員選挙開票結果をもとに、第17期の新役員が以下の13社に決定した報告が行われた。

①「株式会社 NJS 西部支社」 ②「オリジナル設計株式会社 西日本支社」 ③「株式会社 極東技工コンサルタント」 ④「株式会社 三水コンサルタント」 ⑤「株式会社 昭和設計」 ⑥「株式会社 東京設計事務所 関西支社」 ⑦「中日本建設コンサルタント株式会社 大阪支社」 ⑧「株式会社 西日本技術コンサルタント」 ⑨「株式会社 日水コン 大阪支所」 ⑩「日本技術サービス株式会社」 ⑪「日本水工設計株式会社 大阪支社」 ⑫「株式会社 ニュージェック」 ⑬「パシフィックコンサルタンツ株式会社 大阪本社」

続いて、杉浦司会者から、新役員による互選の結果、北支部長、田中副支部長、滝澤副支部長、依藤副支部長及び9名の幹事の体制が決定したことの報告を行った。

役員変更となる日本技術サービス株式会社の鳥井幹事、日本水工設計株式会

社の柏幹事からの挨拶があった。

新役員を代表して、北支部長が、「第16期に引き続き、劇的に変化する外部環境に的確に対応すべく、若手技術者の育成、資質向上や改正品確法適正運用の発注者への要望活動等に重点を置き、本部とも密接に連携しながら活力有る協会活動を展開していく所存であり、これまで以上の会員各社の支援を賜りたい。」旨の挨拶を行った。

#### (4) 第4号議案 平成28年度事業計画及び予算

##### 1) 平成28年度事業計画

「重点テーマ」として、昨年、設立30周年を機に策定された「新水コン協ビジョン」とそれに基づいた中期行動計画に取り組むとともに、加えて、改正品確法の適正運用並びに水コン協活動のプレゼンスをアピールすべく2府4県の発注者との意見交換に注力していく旨を説明した。

「継続テーマ」としては、これまでと同様、「持続的発展可能な社会の構築に貢献する」というコンサルタントの究極の使命を果たすため、育成事業、資質向上に力点を置いた活動の質・量を落とすことなくさらに発展さ、本年度も、より一層活動を強化し活力ある支部活動を展開していく所存であるとの説明を行い、会員のより一層の理解と支援を求めた。

##### 2) 平成28年度支部活動計画

続いて、滝澤副支部長が平成28年度支部活動計画を説明した。説明の主旨は次のとおり。

・公益事業として『育成』『普及啓発』『災害時支援』の3事業を推進する。



- ① 育成－講習会：上下水道事業に関する新しい技術を広く普及させるとともに上下水道技術者の育成を図るために、上下水道に関わる民間技術者や地方公共団体職員に広く公開した講習会の開催や、地方公共団体からの要請に応じた講師派遣を予定している。
- ② 普及啓発－社会貢献活動：関水コンのホームページの充実や、協会誌「水坤」を広く配布することによって、上下水道の整備効果や水質保全における下水道の役割等に関する普及啓発を行う。

- ③ 災害時支援：水コン協または会員企業として災害復旧に貢献できるよう、支援体制を充実させる。
- ・会員各社に直接的に役立つことに配慮し、共益事業として『資質向上』『要望活動』『厚生活動』の3事業に取り組む。
  - ① 資質向上：技術水準の向上やコンプライアンス体制の強化等を目的として、会員各社の役職員を対象に見学会や講習会を行い、会員各社の足腰強化を図る。
  - ② 要望活動：上下水道コンサルタント業務に関する関係官公庁の施策等に対して、要望活動やPR活動を行う。
  - ③ 厚生活動：水コン協会員各社および会員所属社員に対する各種の厚生事業を実施する。
- ・会議・委員会については、8部会および運営委員会を効率的に機能させ、支部活動のかじ取りを行い、各種事業の推進を図る。

### 3) 平成28年度予算

続いて、国宗事務長が平成28年度予算(案)について説明を行った。説明の要旨は次のとおり。

#### ① 収入

- ・会費収入は、会員数の減少により、平成27年度実績約479万円より約6万円少ない約473万円とする。
- ・交付金は平成27年度実績よりわずかに少ない約58万円とする。
- ・単年度収入を約562万円と見込む。これは平成27年度実績約652万円に対して約90万円減であるが、旧事務所ビル保証金約81万円の返還が含まれ、実質は約9万円減である。

#### ② 支出

- ・育成、普及啓発等の公益事業への支出は、講習会資料代の見直しなどで、平成27年度実績約115万円より約20万円少ない約95万円の計画とする。
- ・資質向上、要望活動、厚生活動の共益事業への支出は平成27年度実績より約1万円増額の65万円の計画とする。
- ・法人会計支出は、平成27年度実績約542万円から事務所家賃、事務長定期代等で約99万円減額の約443万円の計画とする。
- ・平成28年度支出合計を平成27年度実績約720万円より約118万円減の約602万円の計画とする。

#### ③ まとめ

- ・単年度収入予算約562万円に対し、支出予算は約602万円となり、

約40万円の赤字予算とした。

#### 4) 役員・部会員等構成

北支部長が、議案の役員・部会員等構成に沿って、平成28年度の支部体制及び8つの部会並びに本部理事、本部委員会の活動体制について説明した。

議長が第4号議案について採決し、異議なく承認された。

### 8. 議長降壇挨拶

北支部長が全体協議会議事進行への協力に対するお礼を述べ、降壇した。

### 9. 閉会

最後に、杉浦司会者が閉会の宣言を行い、懇親会の案内をして、第33回通常全体協議会は滞りなく終了した。

### 10. 懇親会

メルパルク大阪 5階 ラ・シェノウ (17:00~18:30)



懇親会参加  
40名の皆さん

来賓挨拶 水コン協 尾崎専務理事